

人の営みを守る排水機場

(立田輪中悪水土地改良区)

土地改良区と呼ばれる団体の主な役割は、『土地改良事業などで造成された農業インフラ施設の維持管理』が大半で、立田輪中悪水土地改良区では、立田輪中地区(旧八開村西部と旧立田村のほぼ全域)において不要となった農業排水と雨水、さらに生活排水(集落排水施設の排水を含む)のほぼすべてを1級河川木曾川へ強制排水する役割とその排水施設の維持管理を担っています。

市内の森川町地内に設置された立田排水機場と立田輪中第2排水機場の巨大なポンプが、自然勾配では海まで流れない鵜戸川の水を吸い上げ、木曾川堤防に設置された樋管から下の写真のように排水しています。この写真の排水量はおよそ24m³/秒。このような排水を年間200日以上行い、費用は農家から頂いた賦課金をベースに年間1,500万円ほどの電気代の他、設備のメンテナンスや川に不法投棄されたゴミの処分費などに充てられています。

元々は木曾川の中州だった土地であり、今や海拔0m以下が大半の立田輪中地域において、これらの排水は農地をはじめ地域内に暮らすすべてのの方々の生活と財産を、冠水や浸水から守るための排水です。これから秋にかけてゲリラ豪雨や台風など雨の多い季節を迎えますが、この地域は取水も排水もお金が掛かる地域でもありますので、雨予報の際には節水のご協力を頂ければ幸いです。



排水機場の名前	排水ポンプの運転状況 平成29年4月から平成30年3月までの1年間(下段は前年度比)			
	運転日数	運転時間数	排水費用	内電気代
たつた 立田排水機場	228日 (+6日)	2,193時間 (+241時間)	12,752,416円 (+571,455円)	6,062,446円 (+764,140円)
たつたわじゅう 立田輪中第2 排水機場	228日 (+6日)	1,802時間 (-167時間)	12,315,742円 (+315,975円)	9,560,849円 (+641,771円)

排水機場は水を吸い込む機能上たくさんのゴミが流れてきます。処分には多くの費用が掛かりますので、水路へのゴミ捨てはやめてください。

問 土木課 ☎(55)7125